

- ・主審から特段の指示があるまでは、通常、オフサイドラインを監視してもらう。

9.PKのときのポジションの取り方と監視の分担。

- ・キックされる前に、GKがゴールラインから離れて前に出て、ゴールしなかったとき、どのような合図をしてもらうか（GKの片足がライン上に残っている場合はOK）

10.選手の交替をどのように行うのか。

- ・主審が副審2の方を向き、副審1からの合図が見えないとき副審2も交代合図をする。

11.ベンチのコントロールをどのように行うのか。

- ・4th. 審判員がケースバイケースで対応する。

12.負傷者が出たときの処置をどうするのか。

- ・負傷者がピッチの外で治療したがついている場合、近くの副審から「主審にピッチから出ることを言って許可を受けてください」と指示してもらう。

13.得点や警告・退場の記録をどのように記録するのか。

- ・主審が記録を終わって、顔を上げたら副審、4th. も自分のカードに記録する。それまではピッチ内を監視していること。

14.重大な事態が起こったとき、どう援助してほしいのか。

- ・4th. 審判員はベンチコントロール、事態に近い方の副審は主審と協力して騒ぎを鎮める。もう一人の副審は少し離れて状況を記録する。

15.時間の終了時間のシークレットサイン。

- ・主審が終了時間に気がつかないとき、副審からのシークレットサインはどうするか。

16.選手の用具の点検の分担。

- ・副審夫々がチームを分担して、メンバー表を元に背番号を読み上げ、氏名を答えさせてから要具を点検する。

17.第4の審判がいる場合、いつ、どんな援助をしてもらうか。

- ・主審の援助
- ・競技者の交代
- ・出血した負傷者の止血とジャージに血液が付着していないかの確認。
- ・アディショナルタイム（ロスタイム）の表示。ボードがないときはベンチに通知。

18.主審の任務を続けられなくなったとき、誰が主審をするのか。

以上